



各 位

会 社 名 株式会社北紡
代表者名 代表取締役社長 細谷 俊昭
(コード: 3409、東証スタンダード)
問合せ先 取締役 篠原 顯二郎
(TEL. 076-277-7530)

新たな事業の開始に関するお知らせ

蓄電池エネルギーソリューション事業への参入と将来的な生成AI領域への展開

当社は、本日開催の取締役会において、エネルギー関連の成長市場を踏まえ、蓄電池エネルギーシステム (Battery Energy Storage System : BESS) の導入・運用事業を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新たな事業の開始の主旨

再生可能エネルギーの普及拡大やGX（グリーントランスフォーメーション）の加速に伴い、電力需給調整の高度化が社会課題として一層顕著となっております。蓄電池は需給調整機能の中核を担う事業基盤として市場が拡大しており、政府支援策の後押しも受け、安定的な収益確保が期待されております。

また、当社では、2025年9月25日付「エレクス株式会社と生成AIデータセンター事業に関しMOU（基本合意書）締結に関するお知らせ」にて公表したとおり、将来的に白山工場を活用した生成AIデータセンターの事業展開を検討しております。生成AIデータセンターは高い電力安定性が求められるため、バックアップ電源および電力負荷平準化を担う蓄電池の整備が不可欠となります。本蓄電池事業は、将来的な生成AIデータセンター展開に向けた電源インフラの先行的整備として位置づけられ、当社の中長期的な成長戦略との高いシナジーを有しております。

さらに、本事業は、当社白山工場敷地内の十分な設置スペースを活用するものであり、土地取得等の追加負担を抑えながら、事業開始までのリードタイム短縮が可能となっております。工業地域内の既存インフラを活用できることから、将来的な拡張性も備えております。

2. 新たな事業の概要

(1) 事業内容

- 蓄電池設備の導入および需給調整市場への参入
- 電力安定化への貢献およびバックアップ電源機能の提供

(2) 設置計画

- 第1段階として当社白山工場（当社本社所在地）にて蓄電池設備を設置予定
- 既存敷地活用により、土地取得負担の抑制とスピーディーな立ち上げを実現

(3) 事業フェーズ

- Phase1：蓄電池事業の開始（安定収益基盤の確立）
- Phase2：生成AIデータセンター展開に向けた電源最適化への展開

(4) 生成 AI データセンター事業との将来的シナジー

- ・24 時間稼働を支える電力安定性の確保
- ・需給調整市場等への参加により収益最大化
- ・GX 要請に対応したカーボンフリー運用モデルの構築
- ・AI × エネルギー運用技術の蓄積による競争優位性の創出

(5) スケジュール

- ・2026 年上旬：一般送配電事業者へ接続検討を申請
- ・2026 年上旬～中旬：設備導入・工事実施予定
- ・2026 年中旬：PoC（実証）開始
- ・2026 年中旬：本格稼働予定

※「一般送配電事業者へ接続検討を申請」とは、当社工場における系統用蓄電池の設置に必要な系統接続検討申込みを指します。

(6) 当事業を担当する部門

環境部門が担当いたします。

(7) 当該事業の開始のために特別に支出する金額および内容

現時点では具体的に確定しておりません。今後、事業計画の確定に応じて適切に開示してまいります。

3. 日程

(1) 取締役会決議日	2025 年 12 月 10 日（水）
(2) 事業開始日	2026 年 1 月上旬（予定）

4. 今後の見通し

今後の当社業績に与える影響については、詳細が判明次第、適時かつ適切に開示してまいります。

以 上